



本木敏明議員

施設復旧

鯨館の運営は見直しを

今後も継続していく

質問 現在閉館中の鯨と海の科学館は鯨の標本の保存のため、およそ2000万円をかけて空調設備の改修を行っている。今後の開館時期とそれに伴う内外の改装費用の見通しを示せ。

沼崎町長 鯨館は災害復旧事業補助金により改修工事を行い、平成26年度の再開を目指している。改修金額については実施設計後でなければ確定できない。鯨館は平成23年度か

平成26年度の再開を目指します



らおよそ2000万円です。観光協会に業務委託をしている。

経費削減も目的の1つであるが、教育委員会での運営時は約1000万円の持ち出しであったことから、経費削減にならないと思うが。

菊地生涯学習課長 委託前の1000万円の持ち出しの中には人件費が入っていないので、それほどの違いはない。

復興計画

町長のリーダーシップ不足では

そうは思わない

質問 復興計画において、町民はスピードの遅さと町長のリーダーシップ欠如を指摘していると思うが。

沼崎町長 遅いという指摘は十分認識している。あまりにも大きな被害に加え、地盤沈下や国の第3次補正予算の遅れが主因であり、リーダーシップの足りなさとは思わない。

質問 町長の施政方針を聞

議員9人が一般質問

漁業復旧

養殖作業場の復旧は

平成24年度に整備見込み

質問 山田町の復興には水産業の復活が不可欠である。

とりわけ、養殖作業場の早期の建設が要求されている。

が、その見通しはいかがか。

沼崎町長 国・県・町の補助事業を行い、平成24年度中の整備見込みである。

くと、政策展開は網羅的で優先順位がなく、何を施策の中心に据えたいのかわからぬ。ゆえに山田復興の象徴すらなく、町民に勇気や希望を与える内容には程遠いものと言わざるを得ない。この難局を打開すべく町民の先頭に立ち全力を傾けるとあるが、1月の地域説明会ですべての会場に足を運んでいない。これ

では復興への意欲が町民に伝わらないのでは。

沼崎町長 施政方針が各分野、網羅的なのは当然である。

説明会を欠席したのは予定が入っていたのと、技術的、制度的説明は担当課に任せると判断したためである。町長の出席を求める声は1会場2人のみで大方の理解は得られたと考える。